

世田谷区建設工事総合評価方式の試行実施状況について

1 主旨

区では、公契約条例の趣旨を入札制度に具体的に反映させ、品質と価格のバランスを競う入札を目指す、世田谷区建設工事総合評価方式入札を令和 4 年度より試行として実施している。今年度は、対象件数を年間発注件数の 4 割程度に拡大し検証を進めている。当該制度について本年秋に実施する最終検証に向けて、現時点での試行実施状況を報告する。

2 試行実施状況

(1) 年度ごとの実施概要

実施 件数	落札者の得点状況			不調 件数 (参加者少 数による中止 を含む)	低入札価格 調査 実施件数	入札実施 件数 (参加者少 数による中止 を含む。 指名競争入札除 く。)	
	価格点 1 位 かつ その他 1 位	価格点 2 位以下	価格点 1 位 かつ その他 2 位以下				
令和 4 年度	24 件	10 件 (41.67%)	7 件 (29.17%)	2 件 (8.33%)	5 件 (20.83%)	0 件	255 件
令和 5 年度	58 件	32 件 (55.17%)	6 件 (10.34%)	10 件 (17.24%)	10 件 (17.24%)	1 件	306 件
令和 6 年度	78 件	50 件 (64.10%)	7 件 (8.97%)	8 件 (10.26%)	13 件 (16.67%)	1 件	297 件
令和 7 年度 (7 月 15 日 時点)	73 件	40 件 (54.80%)	10 件 (13.70%)	10 件 (13.70%)	13 件 (17.80%)	0 件	157 件
合計	233 件	132 件 (56.65%)	30 件 (12.88%)	30 件 (12.88%)	41 件 (17.59%)	2 件	1015 件

○ 令和 6 年度から評価方法を改めた「男女共同参画、ワーク・ライフ・バランス」において、評価点を獲得する事業者が一定数みられたが、加点は依然として低い水準に留まっていた。昨年度の制度検証では、一般事業主行動計画の策定や認定取得には一定の期間を要するものと考えられることから、推移を確認することとしていたが、現時点では、それ以来 1 者増となっている。

○ 同じく令和 6 年度より建設共同企業体（JV）が参加する案件についても対象を拡大したが、1 社応札が多くを占めており十分な検証ができる実績がなかったことから、中期的な動向を注視することとしていた。令和 7 年度においては、2 件（7 月 15 日時点）実施したが、いずれも全社辞退のため不調となった。

3 今後のスケジュール (予定)

令和7年10月以降 検証結果を入札監視委員会、公契約適正化委員会にて審議
企画総務常任委員会にて報告、区HP等で公表